

MR(麻しん・風しん混合) 任意接種費用の全額助成



MRワクチンは定期予防接種として、2回接種する機会がありますが、定期接種の対象年齢を過ぎてしまうと、「任意接種（保護者の判断で接種するかどうか決めるもの）」となります。品川区では、MRワクチンを任意接種される方に接種費用の全額を助成します。

■対象者

2歳～19歳未満で、定期接種を受けられなかった方

2歳以降、年長になる前 MR1期が未接種の方
小学生以上、19歳未満 MRワクチンを1回しか受けていない方

■費用 **無料** ただし、有効期間内に契約医療機関で接種した場合に限ります。

■接種の受け方（助成の受け方）

品川区が発行する予防接種予診票と母子健康手帳を医療機関に持参して接種します。

STEP1 母子健康手帳を持って区役所または保健センターへお越しください。予診票を交付します。

STEP2 同封の品川区内の契約医療機関で接種予約をお取りください。
※他市区町村の医療機関や、品川区内でも契約のない医療機関で接種した場合は全額自己負担となります。

STEP3 接種日当日、予防接種予診票と母子健康手帳を持参して接種します。

■注意事項

- ◆予防接種法に基づかない任意予防接種は、万一ワクチン接種による健康被害が発生した場合でも、予防接種法の被害救済の対象にはなりません。
- ◆ただし、薬機法で承認されたワクチンを使用した場合に限り、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付が適用されます。
- ◆日本国内で販売承認されていないワクチンは、救済制度の対象になりません。接種時に医師に確認をしてから接種を受けてください。
- ◆妊娠をしている女性および妊娠している可能性がある女性は接種を受けることができません。風しんを含むワクチン接種後は、少なくとも2ヶ月間避妊が必要です。

■麻しんとは

麻しん（はしか）は、ウイルスの感染によっておこる急性発疹性の感染症です。約10日～12日の潜伏期のあとに、鼻水、咳、結膜充血等とともに発熱します。数日間この状態が続いた後、いったん解熱するかにみえるものの再び高熱となり、全身性の発疹が現れて高熱はさらに4～5日続きます。麻しんに罹患した場合、特異的な治療法はありません。

■風しんとは

風しんは、ウイルスの感染によっておこる急性熱性発疹性です。2～3週間の潜伏期のあとに、発疹、発熱、リンパ節腫脹が認められます。約15%～30%の人は不顕性感染で終わります。症状は比較的軽いですが、妊娠20週頃までの妊婦に感染すると、出生児が難聴、先天性心疾患、白内障等を発症する可能性があります。

■ワクチンの効果

- ◆母親が免疫を保有していても、生後4～6か月で受け継いだ抗体はほぼ消失し、6か月を過ぎると罹患する可能性があります。ただし、1歳前に接種した場合のワクチンの効果および安全性は十分に評価されていません。このため、1歳を過ぎたらできるだけ早くMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)を接種することが重要です。
- ◆弱毒化が確かめられている生ワクチンで、0.5mℓを皮下注射します。
- ◆MRワクチンの接種による抗体陽転率は95%以上で、接種を受けた多くの人が抗体を獲得できると考えられます。

■ワクチンの副反応

MRワクチンの副反応の主なものとして、接種直後から数日中に過敏症状と考えられる発熱、発疹、そう痒等がみられることがあります。これらの症状は1～3日で治癒します。また稀に、ショック、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄膜、脳炎・脳症、およびけいれん等がおきる可能性があります。

品川区保健所

保健予防課（区役所7F） ☎5742-9152

品川保健センター☎3474-2225 大井保健センター☎3772-2666 荏原保健センター☎3788-7013